

今年は、長いところでは九日間というゴールデンウィーク。皆さんは、どのように過ごされたでしょうか。

日頃、ゆっくり休暇の取れないMさんは、この連休を利用して友人と千葉県の北総地域へドライブに行きました。どの行楽地も、休日を楽しみむら々で一杯でしたが、中でもMさんの目を引いたのは、子どもを連れた親子の姿でした。

小さな手を引いて歩くお父さん。ベビーカーを押すお母さん。駄々をこねる子供。あまりの微笑ましさに「自分にもこんな頃があつたんだよなあ」と感慨深げにその光景を眺めたといいます。

というもMさんには、両親に対して何かにつけて反発を繰り返し、迷惑や心配をかけ続けてきた過去があるのです。

当時、父親の自営業を手伝っていたMさんは、経営や仕事の手法に異を唱え、喧嘩をしては、好き勝手なことをやってきました。その後、病気で父親は他界。経営を引き継ぎ、代表者となったMさんですが、先代である父親の思いをまったく理解していない経営は、とたんに行き詰ってしまいました。

しかし、Mさんにとっては、ここが人生の岐路となったのです。経営を立て直すために倫理指導を受け、必死の思いで実践に取り組み始めました。

この指導で勧められた実践は、経営や営業の手法を改善することではありません。言うまでもなく先代（父親）の思いを知ることであり、労使の関係である前に、まず親子の関係があることに思いを

## 父母への感謝こそ 未来への推進力



え・牧えみこ

至らせることでした。

そして、実践を続ける中で、亡き父親の思いに触れ、涙を流して詫びることを繰り返すうち、新たなチャンスと巡り合ったのです。Mさんはこのワンチャンスを活かし、現在では別の職業につき、未来への希望と強い信念を持って、充実した毎日を送っています。

実は、驚いたことに、このワンチャンスで得た新たな道は、亡き父親が願っていた職業だったことを、Mさんは後になって知ることになります。

三角形の面積は 底辺×高さ÷2 で求められます。三角形の面積を人間の大きさに置き換えるならば、底辺はその人の持ち得る知識や経験という能力です。

この底辺は、その人の努力によって幾らでも長くすることは可能ですが、面積を広げるためには、なかなか、時間の掛かる作業です。面積を飛躍的に広げるためには、底辺を延ばすとともに、高さである、親祖先への恩意識を高めていくことが最も効果的な方法となります。

親祖先につながり、生かされている「いのち」を確認できたとき、人は大いなる安心の境地と、自意識を超越した能力を得ることが出来ます。

Mさんも「今は、いつでも父が見守ってくれているのを感じて、安心して物事に臨めます」と語ります。

今月の十三日は母の日、来月の十七日は父の日です。このような機会に、両親への思いを深めてみるのも良いのではないのでしょうか。